
心

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
心

【Nコード】
N9081S

【作者名】
桜実保乃佳

【あらすじ】
一応 5月1日なので。コ哀系ではないですが一応、コ哀記念として：

恋愛ではないのでご了承ください。

「哀ちゃんにあげる!!」

突然の吉田さんの告白

何も彼女は持っていない。何があげる？

「何を私にくれるのかしら？主語を言って。意味が分からない。」

吉田さんは少し黙った

「だからあげるよ、哀ちゃんにコナン君。」

くれるって江戸川君？

てか江戸川君は吉田さんのものだったの？

「江戸川君を何で私にくれるの？」

1番気になるところ

「歩美ね、ずっとコナン君に思い寄せてたの。でも諦める。

恋愛感情はもうコナン君に抱かない。だってコナン君の目にはね
哀ちゃんしか映っていない感じだし。」

：／／江戸川君が私の視界の中に映ってる？
冗談：やめてほしい

ただでさえ：

「いつのまにかコナン君と哀ちゃんが凄く仲良しさんに見えて段々
2人の世界が広がってるって雰囲気私達よりずっと大人で遠い世
界にいるとしか：だから」

「まだ大丈夫。江戸川君は女に鈍いだけ、充分今からでも：。」

そう今からでも間に合う。

「もう遅いの！！コナン君は哀ちゃんを女としてみてる、告白した
ら絶対にOKする！」

：。

なんていっていいか分からない
吉田さんは飛び出してしまった

江戸川君が私を思ってくれているという実感はまだなくて：

でもそのコトは凄く嬉しくて：
しかし、結ばれては駄目。

つりあうのは彼女だけだもの。

でも気持ちは……？気持ちは一致するの？

彼と私の気持ち。

「ねえ、江戸川君、私のコト、どう思ってる？」

「はあ？」

少し面白い、絶対、私が真剣に聞いていることでも彼の中では全てデ
タラメとか、冗談としか思っていない。

彼の顔を見れば一目瞭然。

「だからどう思ってるの？」

「珍しいな、オメー恋愛系興味なさそうだけど、んなコト聞くんた。
女っばいトコあんだな。」

「二応、女、貴方より年上のね。」

「へいへい、分かりましたよ、灰原様。」

何、そのからかいかた。

凄くムカつくわね
一発、拳銃で…って駄目ね。

「さっさと言って頂戴。」

「んなもん、自分で考えろ。じゃな。」

「ちょっと。」

江戸川君はそそくさと帰って行ってしまった
多分、自分の気持ちに正直になってない自分から逃げたんだ。

私の言える台詞ではないけど。

自分の心に正直になったら、わかる？自分の中の自分、正直な自分
が…

澄んだ心の自分が…

(後書き)

何かありましたらヨロです☆

平成23年5／1 桜実保乃佳

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9081s/>

心

2011年10月6日22時26分発行